

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場会社名 エンシュウ株式会社

コード番号 6218 URL <http://www.enshu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中安 茂夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 千賀 伸一

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 053-447-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	10,602	△67.6	△1,579	—	△1,548	—	△2,288	—
21年3月期第3四半期	32,771	—	562	—	0	—	△394	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△36.16	—
21年3月期第3四半期	△6.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	25,922	6,079	23.5	96.12
21年3月期	33,360	8,357	25.0	131.51

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 6,079百万円 21年3月期 8,324百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,580	△64.9	△2,590	—	△2,530	—	△3,290	—	△51.98

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 63,534,546株 21年3月期 63,534,546株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 283,812株 21年3月期 237,664株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 63,288,481株 21年3月期第3四半期 63,322,122株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成21年8月7日に公表しました平成22年3月期の連結業績予想につきましては、本資料において修正しております。

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、外需や景気対策などにより一部では回復の兆しが見られるものの、依然として雇用情勢や個人消費の改善、設備投資の需要回復には至っておらず、引き続き厳しい状況となっております。

このような情勢の中で当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、工作機械関連事業部門、輸送機器他関連事業部門ともに大幅に減少し10,602百万円(前年同期比67.6%減)となりました。損益につきましては、原価低減および経費削減に努めてまいりましたが、営業損失は1,579百万円(前年同期は営業利益562百万円)、経常損失は1,548百万円(前年同期は経常利益0百万円)となりました。四半期純損失は、異常操業度損失および貸倒引当金繰入額等の特別損失を計上したことにより2,288百万円(前年同期は四半期純損失394百万円)となりました。

なお、貸倒引当金繰入額は、欧州販売子会社の取引先に対する債権の取立不能又は取立遅延のおそれが生じたことにより、94百万円を計上したものであります。

なお、事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

工作機械関連事業部門におきましては、設備投資需要の旺盛な中国等のアジア新興国において積極的な営業活動をしてまいりましたが、売上高は4,890百万円(前年同期比69.9%減)、営業損失は1,406百万円(前年同期は営業利益208百万円)となりました。

輸送機器他関連事業部門におきましては、自動車部品等の取り入れに注力してまいりましたが、主力の二輪車およびバギー車用エンジン部品の生産が回復せず、売上高は5,711百万円(前年同期比65.4%減)、営業損失は169百万円(前年同期は営業利益369百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ7,438百万円減少し25,922百万円となりました。この主な要因は売上債権及びたな卸資産の減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5,160百万円減少し19,842百万円となりました。この主な要因は仕入債務の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,278百万円減少し6,079百万円となりました。減少の主な要因は四半期純損失2,288百万円の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は23.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間の営業活動による資金は税金等調整前四半期純損失に、減価償却費、売上債権及びたな卸資産の減少等を加え、仕入債務の減少等を差し引き764百万円の獲得となりました。投資活動による資金は主として有価証券の売却による収入から、設備投資による支出を差し引き195百万円の使用、財務活動による資金は長期借入金の増加から、短期借入金の減少等を差し引き1,017百万円の使用となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、1,376百万円と前連結会計年度末より454百万円減少いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年8月7日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。なお修正の詳細については、平成22年2月9日公表の「特別損失(異常操業度損失)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

- ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

- ②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

- (4) 継続企業の前提に関する重要事象等

前連結会計年度においてシンジケートローンの財務制限条項等に抵触する事実が発生し、これにより期限の利益喪失に係る請求を受ける可能性がありましたので、当社グループとしては、当該状況を解消すべく経営効率の改善・改革を含む経営計画、資金計画を策定し、取引金融機関に対しシンジケートローン契約の当該事項につき適用免除について協議を行いました。その結果、多数貸付人より期限の利益喪失請求を行わないことにつき同意を頂いた書面を受領しましたので、当該状況は解消しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,376	1,830
受取手形及び売掛金	2,630	5,855
有価証券	—	167
商品及び製品	2,753	3,503
仕掛品	2,407	3,574
原材料及び貯蔵品	654	733
その他	1,297	1,977
貸倒引当金	△18	△18
流動資産合計	11,101	17,624
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	4,214	4,972
土地	7,472	7,472
その他(純額)	2,822	3,048
有形固定資産合計	14,510	15,493
無形固定資産	63	39
投資その他の資産		
その他	435	293
貸倒引当金	△187	△90
投資その他の資産合計	247	202
固定資産合計	14,821	15,735
資産合計	25,922	33,360
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,090	5,455
短期借入金	4,753	5,371
未払法人税等	11	19
賞与引当金	60	120
その他	795	1,568
流動負債合計	7,711	12,535
固定負債		
長期借入金	7,435	7,820
退職給付引当金	2,169	2,115
役員退職慰労引当金	99	113
負ののれん	17	6
その他	2,409	2,410
固定負債合計	12,131	12,467
負債合計	19,842	25,002

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,640	4,640
資本剰余金	1,230	1,230
利益剰余金	△2,810	△521
自己株式	△49	△45
株主資本合計	3,011	5,303
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4	△26
繰延ヘッジ損益	—	△1
土地再評価差額金	3,204	3,204
為替換算調整勘定	△132	△156
評価・換算差額等合計	3,067	3,020
少数株主持分	—	33
純資産合計	6,079	8,357
負債純資産合計	25,922	33,360

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	32,771	10,602
売上原価	29,906	10,729
売上総利益又は売上総損失(△)	2,864	△126
販売費及び一般管理費	2,302	1,452
営業利益又は営業損失(△)	562	△1,579
営業外収益		
受取利息	8	1
受取配当金	1	0
負ののれん償却額	0	2
持分法による投資利益	1	0
受取賃貸料	49	19
雇用調整助成金	—	206
その他	74	60
営業外収益合計	137	292
営業外費用		
支払利息	218	204
為替差損	400	9
その他	80	47
営業外費用合計	699	261
経常利益又は経常損失(△)	0	△1,548
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	20	—
特別利益合計	22	2
特別損失		
過年度損益修正損	260	—
固定資産売却損	2	—
固定資産廃棄損	37	9
減損損失	2	—
投資有価証券評価損	1	3
貸倒引当金繰入額	—	94
異常操業度損失	—	652
特別損失合計	304	760
税金等調整前四半期純損失(△)	△281	△2,306
法人税、住民税及び事業税	81	△20
法人税等調整額	26	1
法人税等合計	108	△18
少数株主利益	4	0
四半期純損失(△)	△394	△2,288

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△281	△2,306
減価償却費	1,254	1,172
減損損失	2	—
負ののれん償却額	△0	△2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△108	53
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△0	△14
賞与引当金の増減額(△は減少)	△250	△60
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17	96
受取利息及び受取配当金	△10	△2
支払利息	218	204
為替差損益(△は益)	0	10
持分法による投資損益(△は益)	△1	△0
有形固定資産売却損益(△は益)	1	△2
有形固定資産廃棄損	37	9
売上債権の増減額(△は増加)	2,592	3,882
たな卸資産の増減額(△は増加)	△789	2,012
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,993	△3,418
その他	△42	△685
小計	610	948
利息及び配当金の受取額	10	3
利息の支払額	△224	△204
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△86	17
営業活動によるキャッシュ・フロー	309	764
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△108	—
有価証券の売却による収入	—	174
投資有価証券の取得による支出	△47	—
投資有価証券の売却による収入	9	5
有形固定資産の取得による支出	△849	△338
有形固定資産の売却による収入	16	3
無形固定資産の取得による支出	△8	△16
子会社株式の取得による支出	△11	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△998	△195
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,560	800
短期借入金の返済による支出	△1,266	△2,238
長期借入れによる収入	2,900	2,800
長期借入金の返済による支出	△2,285	△2,364
自己株式の取得による支出	△3	△3
配当金の支払額	△1	△0
その他	—	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	903	△1,017
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35	△5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	179	△454
現金及び現金同等物の期首残高	2,770	1,830
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,949	1,376

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	工作機械 関連事業 (百万円)	輸送機器他 関連事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	16,248	16,523	32,771	—	32,771
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	140	—	140	(140)	—
計	16,389	16,523	32,912	(140)	32,771
営業利益	208	369	577	(15)	562

(注) 1 事業区分は、製品の種類・性質によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 工作機械関連事業……フレキシブルトランスファーマシン&ライン、各種専用機、マシニングセンタ、
半導体レーザー加工機他

(2) 輸送機器他関連事業……二輪車用エンジン、雪上車、ゴルフカー及びバギー車の部品加工、船舶用エンジ
ンの加工組立、自動車用部品の加工

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	工作機械 関連事業 (百万円)	輸送機器他 関連事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,890	5,711	10,602	—	10,602
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	—	44	(44)	—
計	4,935	5,711	10,647	(44)	10,602
営業損失(△)	△1,406	△169	△1,576	(2)	△1,579

(注) 1 事業区分は、製品の種類・性質によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 工作機械関連事業……フレキシブルトランスファーマシン&ライン、各種専用機、マシニングセンタ、
半導体レーザー加工機他

(2) 輸送機器他関連事業……二輪車用エンジン、雪上車、ゴルフカー及びバギー車の部品加工、船舶用エンジ
ンの加工組立、自動車用部品の加工

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	日本以外の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	30,126	2,645	32,771	—	32,771
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,336	55	2,391	(2,391)	—
計	32,462	2,701	35,163	(2,391)	32,771
営業利益	361	194	555	6	562

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域
アメリカ、ドイツ、タイ

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	日本以外の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,562	1,040	10,602	—	10,602
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	249	13	262	(262)	—
計	9,811	1,053	10,865	(262)	10,602
営業損失(△)	△1,396	△336	△1,733	153	△1,579

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域
アメリカ、ドイツ、タイ

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	北米(百万円)	アジア(百万円)	その他の地域 (百万円)	計(百万円)
I 海外売上高	1,298	6,979	911	9,189
II 連結売上高	—	—	—	32,771
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	3.9	21.3	2.8	28.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ

(2) アジア……………中国、韓国、インド、タイ、インドネシア

(3) その他の地域……ドイツ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦地域以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米(百万円)	アジア(百万円)	その他の地域 (百万円)	計(百万円)
I 海外売上高	944	1,640	30	2,615
II 連結売上高	—	—	—	10,602
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	8.9	15.5	0.3	24.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ

(2) アジア……………中国、韓国、タイ

(3) その他の地域……フランス

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦地域以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比 (%)
工作機械関連事業	4,079	△73.6
輸送機器他関連事業	5,652	△65.7
合計	9,732	△69.5

(注) 1 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比 (%)
工作機械関連事業	6,519	△40.1	7,161	△37.6
輸送機器他関連事業	5,892	△53.8	2,713	△32.4
合計	12,412	△47.5	9,875	△36.2

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去をしております。
2 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比 (%)
工作機械関連事業	4,890	△69.9
輸送機器他関連事業	5,711	△65.4
合計	10,602	△67.6

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去をしております。
2 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。